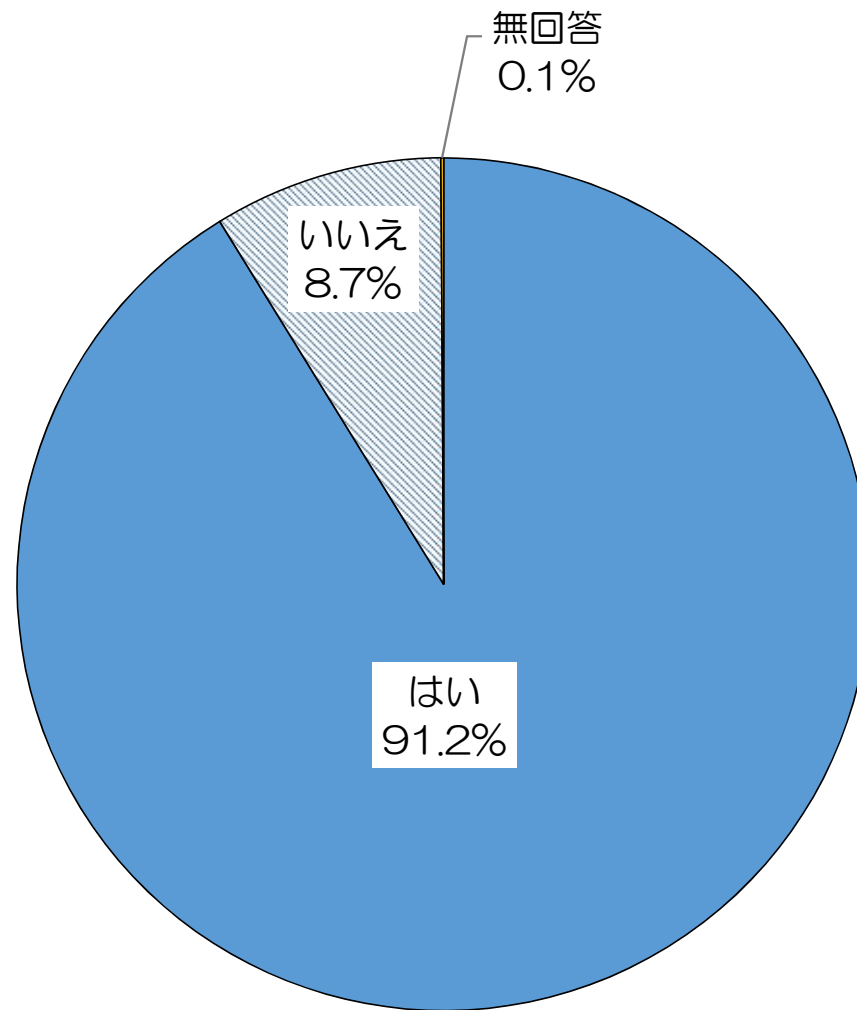


- (1) 目的：今回の条例改正に合わせて、これからの自転車交通安全施策の検討材料として、自転車を利用する機会が多い高校生に対し実施した。
- (2) 調査時期：令和3年9月下旬～10月上旬
- (3) 調査対象校：熊本市内の公立高等学校7校と私立高等学校7校
- (4) 調査対象者：調査対象校に在籍する高校1年生
(有効回収数：4,615票)
- (5) 調査方法：熊本県警交通企画課と熊本市で作成したアンケート調査票を、対象の高校に在籍する1年生に対して配布し、アンケート調査を実施。回答後アンケート票を回収し集計。

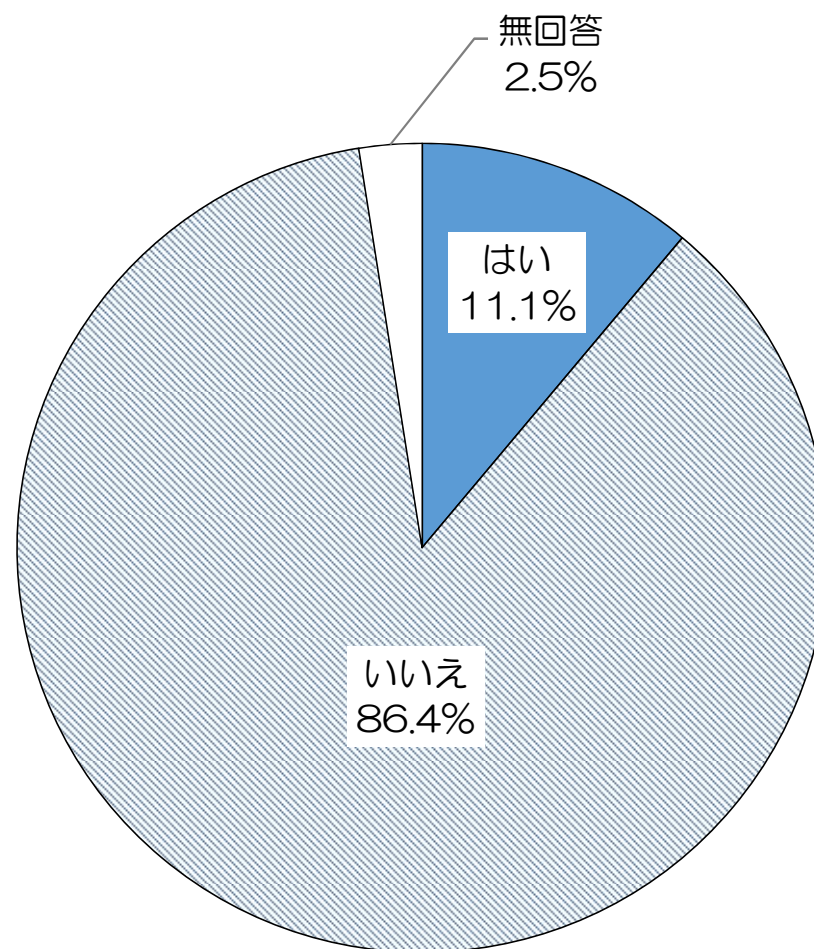
問1 現在、自転車を利用していますか



n=4615

約9割の高校生は、自転車を利用している。

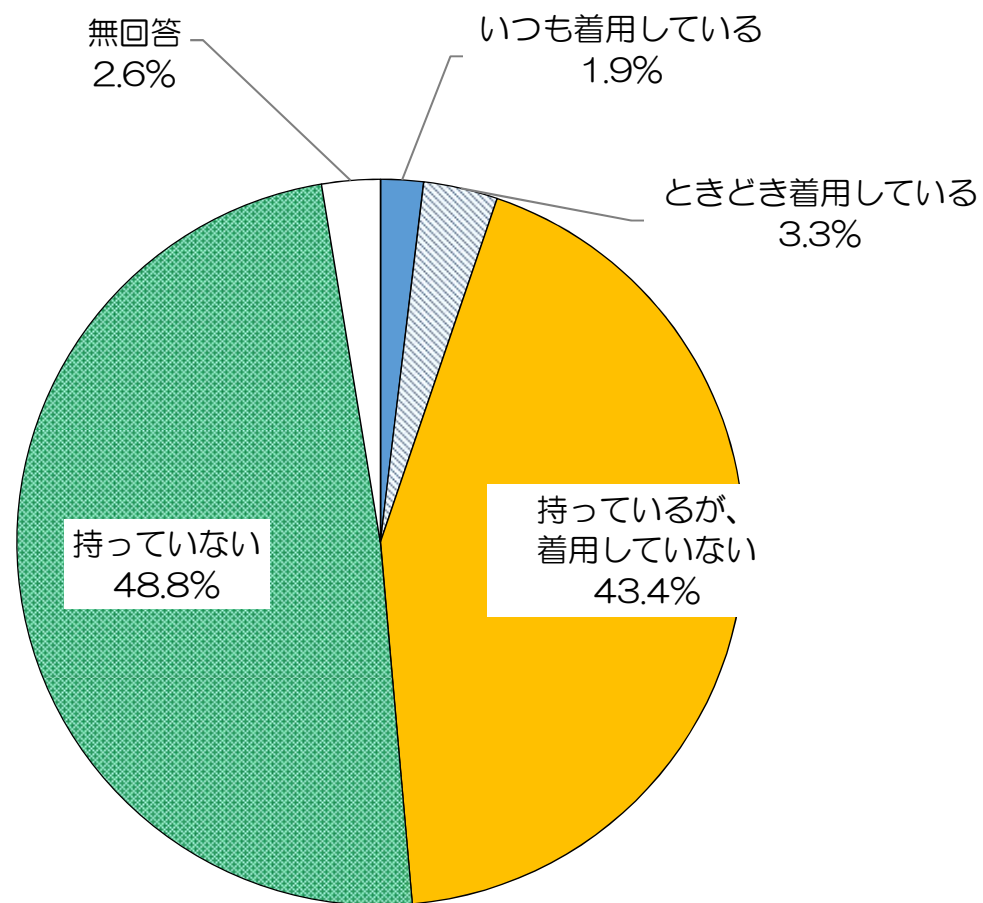
問2 自転車利用中に交通事故を起こした（遭った）ことがありますか



n=4615

約1割が、これまで自転車事故の経験がある。

問3 自転車利用時にヘルメットを着用していますか

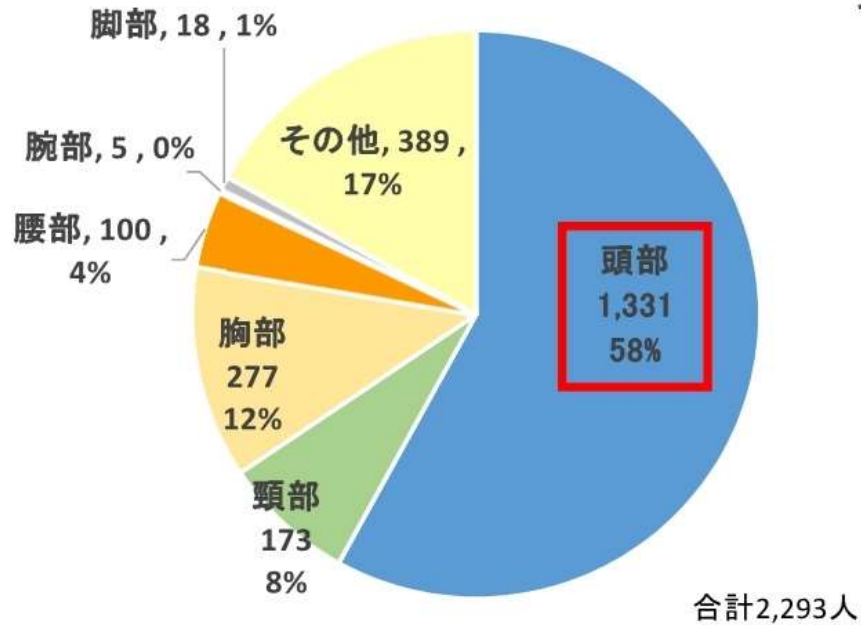


n=4615

約半数はヘルメットを持っていないのに対し、
4割強はヘルメットを持っているが着用していない。

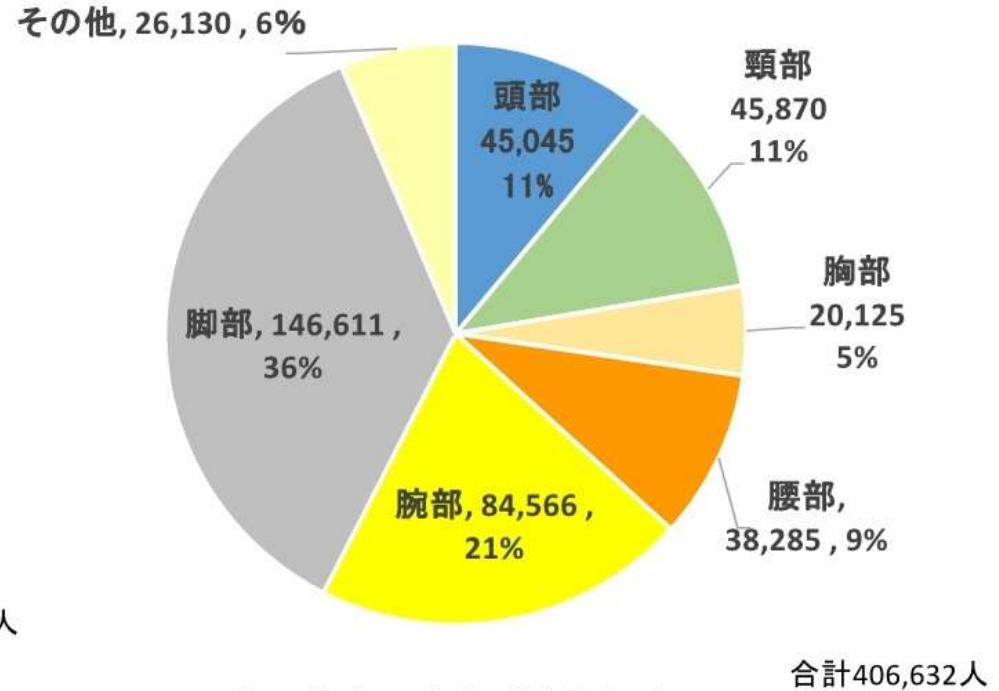
【参考】警察庁ホームページより

自転車乗用中死者の人身損傷主部位
(致命傷の部位)(平成28年～令和2年合計)



・「その他」とは、顔部、腹部等をいう。

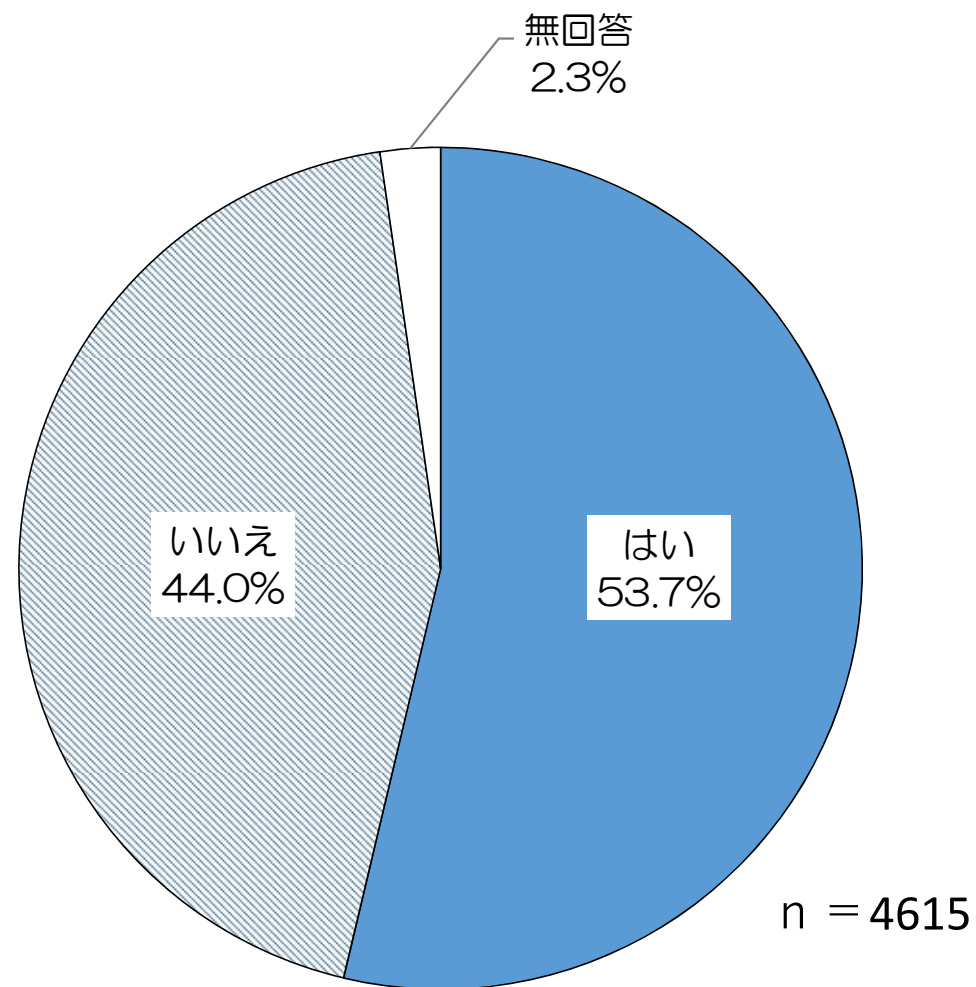
自転車乗用中負傷者の人身損傷主部位
(平成28年～令和2年合計)



・「その他」とは、顔部、腹部等をいう。

自転車事故での死者の約6割が頭部損傷
⇒ヘルメット着用の重要性

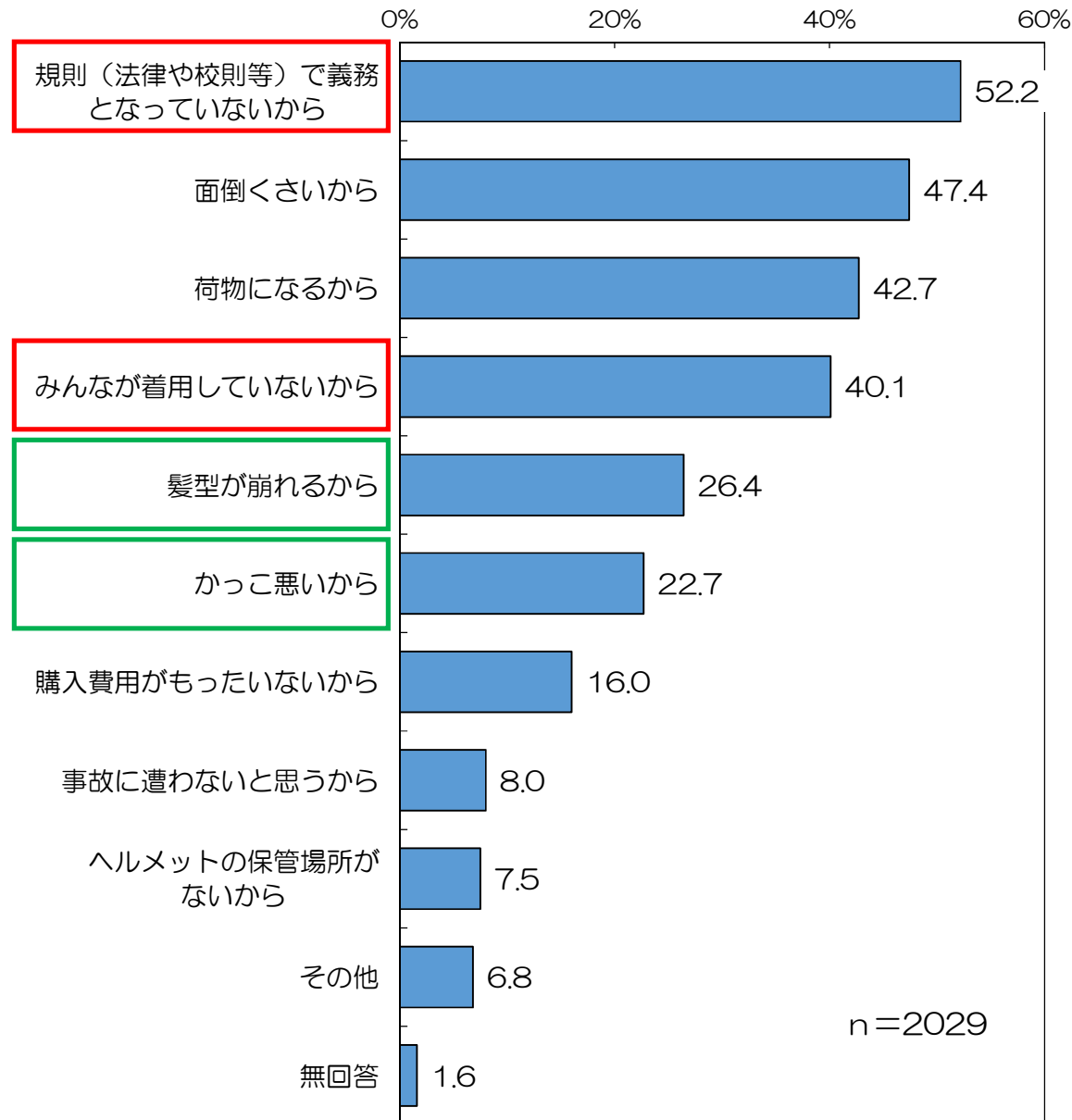
問4 自転車のヘルメットは着用すべきだと思いますか



半数以上が着用すべきと回答 ⇒ ヘルメットは重要と認識している。

問5 ヘルメットを着用していない理由はなぜですか（前問で「いいえ」と答えた方に質問）

※複数回答可

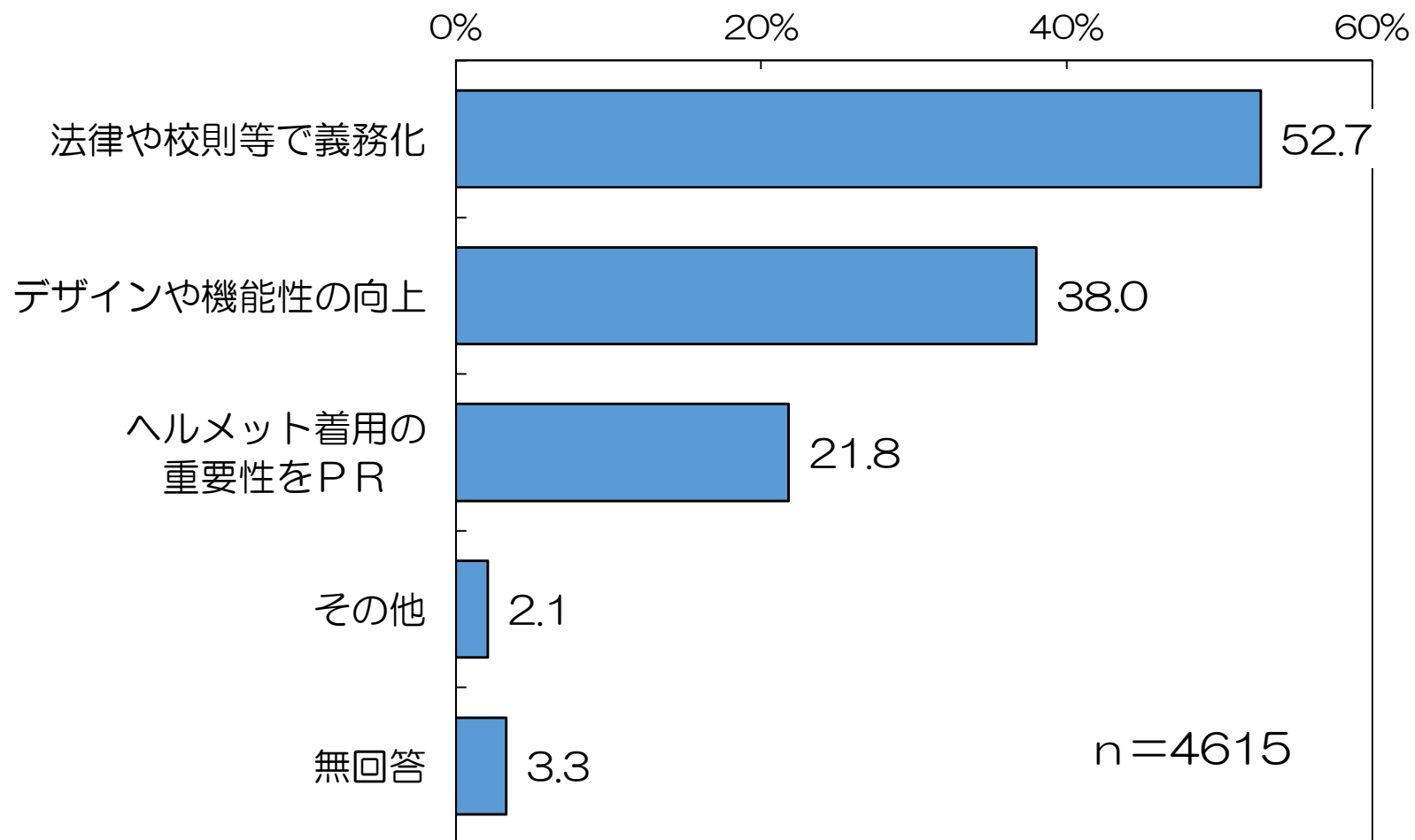


緑箱書きのように、実は髪型を気にしているのは、1/4しかいない。

赤箱書きの回答から、周りが着用すれば、自分も着用するとも推測できる。

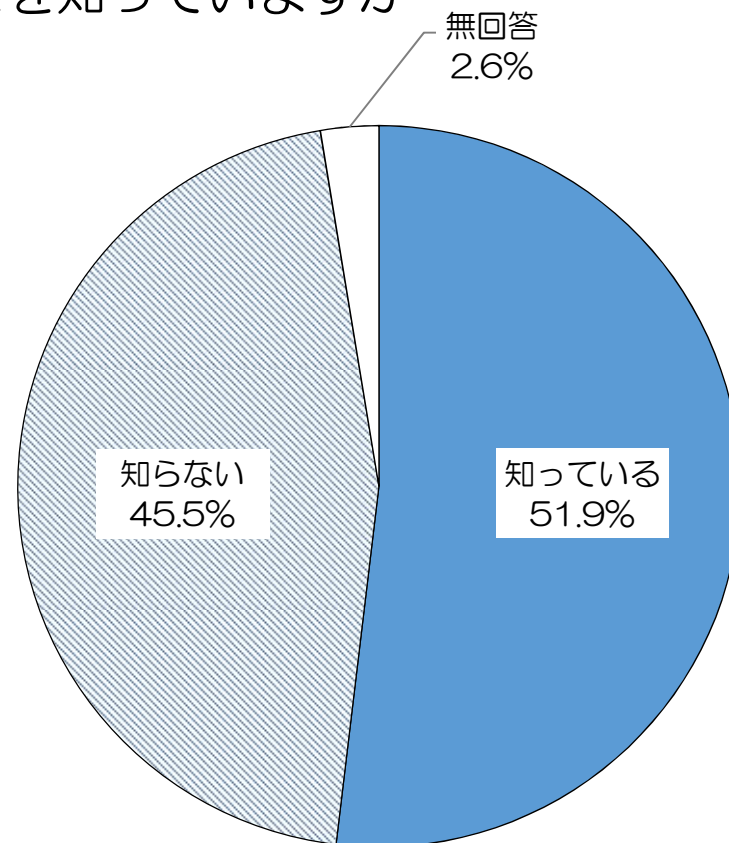
問6 どうすればヘルメットを着用するようになりますか

※複数回答可



規則等があれば、着用する可能性が大きい。
ヘルメットのデザイン性も重要になる。

問7 熊本県では、今年の10月1日から全ての自転車利用者が自転車の保険に加入しなければならないことを知っていますか

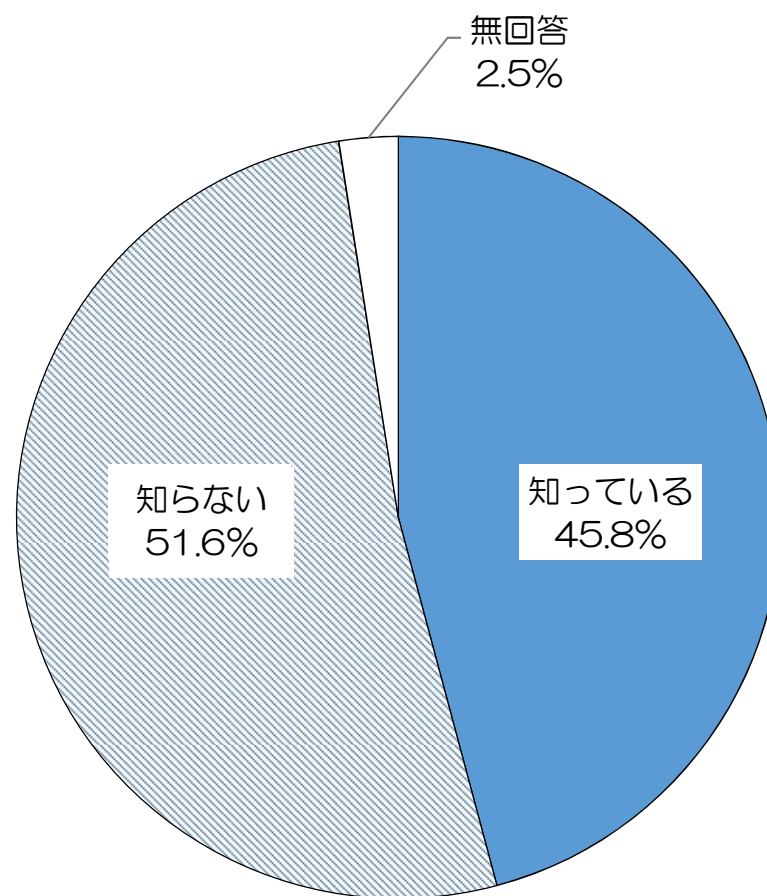


n=4615

半数は知っているものの、さらに周知に努めたい。

※なお、県立高校については、「全国高P連賠償責任補償制度」で全員が自転車保険に加入している。

問8 自転車側が加害者となる交通事故で約1億円の賠償となった事例があったことを知っていますか



n=4615

全国での保険義務化の動きは、被害者の救済はもちろんのこと、加害者の経済的負担軽減のため。
保険加入だけでなく、交通安全への意識を合わせて高めていきたい。